トピックス

VI. 内科系 20 領域における診療報酬上の課題

4. 消化器領域の診療報酬における課題

上村 直実

要 旨

平成 26 年度診療報酬改定の結果から、消化器臓器に関連した診療報酬に関する課題について概説した。消化器関連委員会より、内科系学会社会保険連合（内保連）経由で要望した新規収載要望項目や診療に対する増点などを達成したものは少なかった。今後、本委員会は、消化器関連の診療技術に対する適正な診療報酬を設定するとともに、今後、本委員会に参加する全ての学会のみでならず、放射線学会など他学会との連携を密にすることが重要と思われる。

〔日内会誌 103：3022～3024, 2014〕

Key words 消化器診療, 消化器病学, 診療報酬

はじめに

我が国は世界でも稀な国民皆保険システムによる社会保険診療を実践している。保険を用いた医療現場において、新たな医薬品や医療機器を使用するためには、医薬品医療機器総合機構（Pharmaceuticals and Medical Devices Agency：PMDA）および厚生労働省医薬食品局審査課における薬事審査による薬事承認を受け、その後、さらに中央社会保険医療協議会（中医協）による審査により保険適用が承認されて、はじめて診療現場で使用可能となる。一方、新たな薬剤や機器を用いない診療技術に関しては、内科系学会社会保険連合（内保連）や外科系学会社会保険委員会連合（外保連）を通じて学会

などからの要望に従って、保険局医療課経由で中医協において審査されて承認される。診療報酬の増減についても、ほぼ同様の経緯により技術に対する報酬点数が設定されている。本稿では、主に平成 26 年度診療報酬改定の結果から、消化器臓器に関連した診療報酬に関する課題について概説する。

1. 平成 26 年度改訂で収載された要望項目について

内保連に属する消化器病関連委員会は日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本消化管学会・日本肝臓学会・日本膵臓学会・日本ヘリコバクター学会・日本心身医学会・日本心療内科学会で構成されているが、本委員会の開催

国立国際医療研究センター国府台病院

Technical Evaluation of Medical Practice—Conversion from Things to Skill and Art. Topics: VI. Issues on Fee for Medical Services in 20 Internal Medicine Fields; 4. Subject regarding the fee-for-medical service in the region of the digestive organ. Naomi Uemura: Kohnodai Hospital, National Center for Global Health and Medicine, Japan.

表 1. 消化器関連領域における平成 26 年度改訂の主な結果

-
- 1) 新規に収載された項目
- 胃・食道内 24 時間pH測定 (内保連)
 - ダブルバルーン内視鏡を用いた「腸管を畳み込む」技術による小腸内視鏡検査法 (内保連)
 - 碎石に対する体外衝撃波破碎療法 (内保連)
 - 胃局所切除術 (胃内視鏡加算) (外保連)
 - 内視鏡検査の休日加算, 時間外加算, 深夜加算
 - 内視鏡治療時の鎮静管理料 (小児または 2 時間以上)
- 2) 増点や条件の緩和がなかった項目
- 内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術 (EVL) (条件の緩和) (内保連)
 - 内視鏡的胃・十二指腸ステント (増点)
 - 超音波内視鏡下穿刺吸引生検法 (EUS-FNA) (外保連)
 - 肝動脈塞栓術 (日本医学放射線学会)
-

表 2. 平成 26 年度改訂において不本意であった主な結果

-
- 1) 新規ないしは増点の要望等が却下された項目
- 血中ペプシノゲン値の測定による慢性胃炎の診断 (内保連)
 - 内視鏡電子画像管理加算 (内保連)
 - 消化器軟性内視鏡安全管理料 (内保連)
 - 内視鏡的治療術中炭酸ガス加算 (内保連)
 - 小腸ファイバースコピー 2 カプセル型内視鏡の増点 (内保連)
 - 超音波診断装置による肝硬度測定 (内保連)
 - 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法の増点 (内保連)
 - HCV core70 測定検査, ISDRおよびHCV coreアミノ酸変異検査 (内保連)
 - HBV核酸アナログ耐性遺伝子検査 (内保連)
 - カルニチン血中濃度測定検査 (内保連)
 - IL28B測定検査 (内保連)
 - 十二指腸乳頭切除術 (外保連)
 - 早期悪性腫瘍大腸粘膜剥離術の増点 (外保連)
 - 内視鏡下胆管膵管処置におけるバルーン内視鏡加算 (外保連)
- 2) 減点された項目
- 内視鏡的胆道碎石除去術
 - 内視鏡的胆道拡張術
 - 内視鏡的乳頭切開術 括約筋切開のみ
 - 内視鏡的乳頭切開術 胆道碎石を伴う
 - 小腸結腸内視鏡的止血術
 - 内視鏡的胃瘻増設術: PEG
-

HCV: hepatitis C virus, ISDR: interferon sensitivity determining region,
HBV: hepatitis B virus

実績が乏しいため, 秋の日本消化器関連学会週間 (Japan Digestive Disease Week: JDDW) 期間中に合同委員会を開催して, 診療報酬改定へ向けての要望項目をまとめる方策を開始している。

平成 26 年度改訂へ向けた主要望項目と結果を表 1 と表 2 に示している。要望に伴って新たに保険収載されたものは, 内保連経由が 3 項目

(胃・食道内 24 時間pH測定・ダブルバルーン内視鏡を用いた「腸管を畳み込む」技術による小腸内視鏡検査法・碎石に対する体外衝撃波破碎療法), その他 3 項目 (胃局所切除術・内視鏡検査の休日等加算・内視鏡治療時の鎮静管理料) であった (表 1)。

診療技術の評価が改正されたものとして, 内

トピックス

保連経由では食道静脈瘤結紮術（endoscopic variceal ligation : EVL）の回数に関する1件のみであり、他のルートで既存技術に対する診療報酬点数の増点を希望したものの中、内視鏡的胃・十二指腸ステントおよび超音波内視鏡下穿刺吸引生検法（endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration : EUS-FNA）については外保連経由での増点要望により増点され、放射線学会から要望された肝動脈塞栓術が増点された。さらに、別ルートで採択されたものとして、内保連経由で要望された胃・食道内24時間pH測定が新規の収載を獲得し、内視鏡診療の休日・時間外および深夜加算も新たに承認されていた。さらには、放射線学会から要望されて増点となった肝動脈塞栓術は消化器関連のものであり、やはり、複数の学会が共同して要望することが重要であり、今後、消化器関連技術に関しては、放射線学会などの学会との緊密な連携が重要と思われた。

2. 平成26年度改訂において却下された要望項目と今後の改善策

本委員会を中心として内保連経由で要望した項目のうち、申請が却下された項目は多数にのぼり、血中ペプシノゲン値の測定による慢性胃炎の診断、消化器内視鏡診療に伴う管理加算など、肝炎ウイルスの遺伝子変異などに関する検査、超音波診断装置による肝硬度測定、肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法の増点要望などであった。外保連経由で要望した内視鏡技術関連では、新規技術としての十二指腸乳頭腫瘍切除術の却下、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術の増点の却下および内視鏡下胆管膵管処置におけるバルーン内視鏡加算であった。減点された診療技術として、内視鏡関係では胆道系の内視鏡的な手術や

内視鏡的胃瘻造設術（percutaneous endoscopic gastrostomy : PEG）や胆道系の内視鏡手術が主だった減点対象診療技術となった（表2）。今後、内視鏡技術に関する適切な診療報酬を決定していくことが重要と思われた。

3. 消化器内視鏡分野における課題

消化器内視鏡学会に対する内保連のヒアリングにおいては、「内視鏡は外科系のものではないのですか？」といった回答があり、一方、外保連では「手術室で行わない内視鏡検査や治療は外科手術と同一のものではない」といった空気が強く、内視鏡関連の診療に関しては、内保連と外保連の狭間に位置したものであった。この実態を踏まえて、内保連と外保連の共同で立案された「内視鏡における適正な診療報酬に関するワーキンググループ(WG)」(藤城光弘委員長)が設立されている。本WGにおいては、外保連試案を基本に内視鏡検査や内視鏡手術に対する適切な診療報酬点数を設定するための作業が開始されており、平成28年度改訂には内視鏡関連の案件に関わる要望書の提出を目標として活動している。内視鏡に関連する学会にとっては本WGが大きく機能することが期待されている。

おわりに

消化器関連の検査と治療を含む診療技術に対する適正な診療報酬を設定し、消化器関連委員会が会員にとって有益なものとなるためには、今後、参加する全ての学会のみでなく、放射線学会などとの連携を密にすることが重要と考えられた。

著者のCOI (conflicts of interest) 開示：上村直実；講演料（アストラゼネカ、エーザイ、武田薬品工業）、寄付講座（エーザイ）